

平成 23 年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【2月募集】入学試験問題

講 座	経済理論・統計、比較経済、政策科学、 経営学、会計学、組織経済学、 地域公共政策コース
専門科目	会計学

以下の問 1 及び問 2 の両方に答えなさい。なお、問 1 は解答用紙の第 1、第 2 ページを、問 2 は解答用紙の第 3、第 4 ページを用いて解答しなさい。

問 1 有価証券の評価方法及び税効果会計の適用に関する下記の問に答えなさい。

- (1) 売買目的有価証券及びその他有価証券について、期末における評価方法及び評価差額の財務諸表への表示方法を理論的根拠を示して説明しなさい。
- (2) 税効果会計の意義について説明しなさい。  
また、上記(1)のその他有価証券の期末評価において税効果会計を適用した場合、どのような会計処理が行われるか、具体例を示して説明しなさい。
- (3) 税効果会計の適用において繰延税金資産が計上されるのはどのような場合か、具体例を示して説明しなさい。  
また、繰延税金資産を貸借対照表に計上するに当たって、留意すべき事項について説明しなさい。

問 2 利益計画に利用される CVP 分析について下記の問に答えなさい。

- (1) CVP 分析は、CVP 図表上で売上高直線および原価態様による固定費および変動費の分解を伴った総原価直線を利用して行われるが、そこで CVP 分析が前提としている仮定について説明しなさい。
- (2) 経営レバレッジについて説明し、その大きさを示す経営レバレッジ係数の算出方法を次の用語を使用して示しなさい。 [販売数量、販売単価、製品単位当たり変動費、固定費]

以上